

そこが知りたい! なるほどちな〜ニュース

首里城ってどんな城?

再建重ねた琉球の宝

りゅうちゃんと個性的なコメンテーターがニュースを分かりやすく紹介する「そこが知りたい! なるほどちな〜ニュース」。10月31日に焼失した首

里城は、これまでどんな歴史を歩んできたのでしょうか。りゅうちゃんの疑問に、がじゅまーさんが答えます。



戦前の首里城正殿。「沖縄神社拝殿」として国宝指定された1925年より後に撮影されたものとみられる(那覇市歴史博物館提供)

14世紀に建立、焼失5度目

かつての首里城は、いつ頃に完成したのかな。首里城は14世紀後半から15世紀前半に建てられたと考えられているぞ。沖縄には、1429年から、1879年の廃藩置県で「沖縄県」ができるまで、琉球王国という独自の文化

を持つ国があったんじゃ。首里城には国王が住んでいて、政治や文化・外交・信仰の中心だったぞ。

ご、500年以上前から首里城はあったりゅ!? 最初に建てられた首里城は1453年に反乱で全て

焼けてしまった。1660年と1709年にも火事で焼けて、そのたびに建て直したんじゃ。1925年には国宝に指定されたけど、沖縄戦の時(1945年)に地下に日本軍の司令部があったため、アメリカ軍に攻撃されて壊されてしまった。焼失などでなくなるのは今回で5度目なんじゃ。



1712年ごろに再建した赤瓦の建物をモデルに復元された首里城正殿=2012年9月

登場するのは…

がじゅまーさん

自然や歴史について詳しい、実は樹齢500年のガジュマル。のんびりしているが怒ると葉の色が変わる。沖縄の黄金言葉が口癖。

知識と技を集め復元へ

今回焼失した正殿は、いつ頃の首里城を参考に造られたの。

沖縄戦で焼失する前の1712年ごろに再建された首里城を復元しておいた。沖縄戦でほとんどの資料が失われたんじゃ。何も無い中、多くの研究者と職人の技術の結晶がある首里城だったのじゃ。

復元は大変な事業だったんだね。

1992年に正殿などが復元され、首里城公園が開園したんじゃ。開園後も復元事業は続き、86年から2018年までの33年間で総事業費約240億円をかけて、今年1月に全ての施設が完成したばかりだったんじゃ。



①正殿の柱「向拝柱(こうはいばしら)」には、金龍と瑞雲が描かれていた。2013年に修復作業が行われた



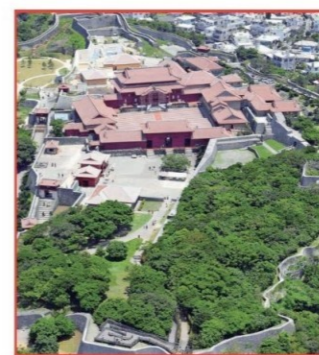
②正殿の復元工事で、くぎを使わずに手作業で柱などを組み立てていく職人=1990年9月
③首里城の南殿などに使われた屋根瓦には、1万円を出資した人たちの名前が記されている。首里城公園友の会が、公園完成後の運営を支える目的で出資者を募った=92年1月

国内唯一の「朱い城」

首里城と日本の他のお城はどう違うの。

首里城は沖縄のグスク(城)にしかない特徴があった。日本の城は高い天守閣や水をためた堀があるけど、首里城にはないんじゃ。首里城には高い技術で造った、曲線を描いた石垣はあるよ。首里城は中国・北京の紫禁城を意識して造られたらしい。日本の建築や中国の彩色を取り入れつつ、正面にある末広がり階段、龍柱など首里城にしかない特徴がある。城内に御獄や拝所もあって、信仰の場でもあったんだ。

首里城は赤い色(朱色)のイメージだね。



- 日本の城
- 高い天守閣がある
 - 水を貯めた堀がある
 - 主に平坦な場所にある

国内で唯一の「朱い城」だが、元は板葺きや灰色の瓦葺きの屋根だった。1712年ごろの再建で赤瓦になったんじゃ。

首里城

- 丘陵の地形に添って築かれ、城壁が曲線
- 御獄や拝所があり、信仰の場でもある
- 赤瓦など赤色を基調としている
- 龍柱や龍頭など、龍を多用

